

広報のひろべつ

市の人口

(11月末現在)

総人口	51,885 (171増)
男	25,909 (72増)
女	25,976 (99増)
世帯数	15,327 (55増)

()内は前月との比較増減

●No. 202 ●毎月1日・15日発行 編集発行/登別市中央町/登別市総務部公聴広報課



絶やすな、伝統獅子舞

一時は、登別市内でもっとも隆盛をみせていた鉱山町。よる年時代の波に勝てず、視別硫黄鉱山会社の廃鉱によって、今は十数戸の超過疎地となり訪れる人もない。

しかし、ここに郷土芸能として、いまなお、60年間の伝統を受け継いでいる、獅子舞がある。暴れ狂う獅子を、鎌を手にした若者が、退治するというもので、はやしの早いリズムに乗った勇壮な舞いである。ところが、後継者不足、財政難でピンチに立たされている。

1 1976
.1 ~ 15 合併号

とうございます



登別市長
田村 仙一郎

市民のみなさま、あけましておめでとうござ
います。
昭和五十一年の新春を、五万二千登別市民の
みなさまとともに、お迎えできたことを心から
お喜び申し上げますと同時に、平素からの市政に
対する御理解と御支援、御協力に厚く御礼申し
上げます。

おかげで、昨年四月みなさまの暖かい御支援
を得て、市長に就任してから、市民のみなさま
の御協力のもとに、敬老年金の支給対象年齢の
引下げ、市立幼稚園の建設着工、道路舗装、排
水整備、公営住宅の建設、第一回市民まつりの
開催、弔慰金条例の実施、市民表彰の挙行など、
社会福祉の充実と快適な生活環境づくりの実現
に向かって努力してきました。

いま新春の年頭にあたり、思いを新たに
して、郷土登別のより一層の発展をねがう時、私は私
の市政指針である

- ◎ 市民参加で、明るく清潔で平和な市政
- ◎ 市民の命と、暮しと健康を守る市政
- ◎ 公害や災害をなくし、自然環境整備の市政
- ◎ 市民の教育、文化、スポーツを豊かにする市政

市政

- ◎ 労働行政の拡充強化と施設整備の市政
- ◎ 中小企業・観光・農林・漁業を育てる市政

等の

七大重点施策を基調とした、住みたくなる登
別、住んで良かった登別の都市建設のために、
全身全霊をこめて努力する決意です。

どうぞ本年も市政に対し、倍旧の御協力を、
賜わるよう心からお願いたしますとともに、皆さま
の御多幸をお祈り申し上げまして新年のごあい
さつといたします。

新春座談会

これからの町づくりを考える

田村市長、新成人と語る



出席者(順不同)

- ◎小野寺貞夫さん(富士町) 上田商会勤務
- ◎渡部裕一さん(登別温泉町) 北海道銀行登別支店勤務
- ◎制野美和子さん(登別東町) 第一滝本館勤務
- ◎滝沢京子さん(登別町) 商工信用組合登別支店勤務
- 登別市長 田村 仙一郎
- 司会 公聴広報課長 千葉 勲

住み良い町・住みたくなる町へ

一月十五日に成人式を迎え、大人の仲間入りをする、市内の若い
方四名を市長応接室にお招きし、登別市の将来はいかにあるべきか
について田村市長と語っていただきました。新春座談会の内容を紹
介します。

市長「これからの町づくりを
考える」新春座談会に、出席され
ました新成人のみなさん、本日は
どうもありがとうございます。
月十五日に成人式を迎えられ、
大人の仲間入りをされるわけです

基本的な任務と使命は、市民の幸
せを向上させることです。
市民が連帯感を深め、自分たち
の住む登別を、住み良い街、住み
たくなる街へと力をついにしして、
努力していくことが、最も大切な
ことであると思います。

また、民主主義の原則にしたが
って、五万二千市民の最大多数の
最大幸福をもとめるといふ、基本
的信念をしっかりと持って、理想
的な登別市建設のために努力して
います。昭和五十一年の新春にあ
たり心をあらたにして、みなさん
と生きたいがあり、夢のある町づ
くりとは、いったいどういうこと
かについて、話し合いをするのも
意義あることではないかと思いま
す。

気楽に、お話をしてください。
よろしくおねがいいたします。

司会 今、市長から町づくりの
基本理念を話してもらいましたが
小野寺さんから、何か話の口火を
さしてください。

小野寺さん 市長さんは、対話
行政を積極的にすすめてられていま
すが、その結果はいかがですか。
また、対話と町づくりについて
考え方を教えてください。

市長 五万二千人の市民が、市
政の主人公であり、主権在民であ
るとの民主主義の原点に立って、
市民が何を考え、何を求めている
かを知る必要があるわけです。
そして、市民の意志を聞き、そ
れを市政の柱としなければならな
いということから、市民との対話
をすすめています。

対話の中では、いろいろな意見
が出てきます。「道路を早く舗装
してほしい」、「教育施設を充実し
てください」など、建設的な意見、
エゴ的な発言、ただ単に批判する
だけの人などいろいろあります。
市民の意志を行政に反映させる
ためには、こうした多くの市民か
らの意見を聞かなければなりません。

それから、市長は選挙によって
選ばれますが、選挙公約をかかげ
て立候補し、市民の支持を受けて
当選するけれど、その公約は立候
補者の考えであり市民の意志で
はないのです。そこで、市民との
対話の中から、市民の考え方を
とめることになりました。

小野寺さん 市民との対話の形
式や方法は、どのようにしてい
ますか。

市長 対話の方法にはいろいろ
ありますが、例をあげると、町内
会の方から呼ばれる受身の対話も
あれば、私の方から積極的に向
出ていって聞く、青空対話もあり
ますし、職場対話などのほか、市
役所が町内会長さんを集めて、テ
ーマをきめて行うこともありま
す。

この場合、市の部単位、あるいは
公聴広報課が企画して実施する
対話集もあります。

対話で出た問題は、実情にあ
わせて、市の担当部局の方で、現
状をよく調査し、その目的達成の
ために、検討、努力を重ねること
になります。

あけましておめで



登別市議会議長
室 久 吉

市民のみなさん、あけましておめでとうございます。
輝かしい新年の初頭にあたり、心からお祝いを申し上げます。
昨年を顧みますと、春の統一地方選挙、さらに秋の国勢調査と市民のみなさまにとりましても、いろいろとお忙しい年であったと思いがすが、とくに石油ショック以来続いている、国内の経済情勢は悪化の一途をたどり、遂には不況を招き、私ども市民生活におよぼす影響も、一段と深刻化しています。
市民のみなさまは、さぞかし、不安の多い年でもあったと推察いたします。
明けて昭和五十一年、初日は美しく輝き私たちにあたった光をふりそそいでいます。
今年は、冷たい不況風を吹き飛ばし、全市民が等しく幸せで希望に満ちた、明るい年であるよう確信しています。
登別市もご承知のとおり、道内の中堅都市として、名実ともに大きく発展し、最近の困難な経済情勢の中にあっても市民憲章を基調とした理想都市へと着々と、街づくりが進められていますが、これは市民のみなさまの、深い郷土愛とおしみなない、ご協力によるもので、心から感謝いたします。
私たち市議会といたしましては市民在権を主体として、終始公正に諸案件を、慎重審議し、市民福祉の向上に全力を注ぐことが、五万市民の負託にこたえる、私どもの責務であらうと決意を新たにしております。
どうか、みなさま、市政に対し、より一層のご理解とご協力をおねがいいたします。
終りに、今年も市民のみなさまにとり、健康で幸せに満ちた最良の年でありますよう、心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

対話の町づくり、市民参加の できる行政のあり方が大切



小野寺貞夫さん



制野美和子さん

制野さん 対話とか、市民参加とか、よく言われますが、これを市民に身近かなものとしてすすめていくには、対話のできる町づくり、市民参加のできる行政のあり方が非常に大切だと思います。

市長 そうですね。市民が市役所に対して一つ距離を置いて見ている間は、これはもうよくならないわけですから……。それからもっと積極的に市役所に親しみやすくなつてもうために、市の方はどうすべきか、市の方はどう対応すべきか、考えなければなりませんね。そして、市役所自身が、職員自身が、まず献身的な努力をしないと、訴える力がないですね。

また、市民同士が集まって対話をかかわすコミュニケーションの機会を多くもつことも、私は大切なことだと思います。

滝沢さん 若い人たち同士が、対話のできる機関を、作る考えはないのですか。

市長 現在、青年、婦人、老人などの社会教育課が指導、育成しているグループがあつて、このグループ内の対話は、行なわれているようですが、そのほかの人たちには、対話をすすめるための機関は、組織されておられません。

そこで、市では各階層別の青年層、婦人層、職種別あるいは、ドライバーと歩行者というふうに分けて、話し合いをする方が、発言する人が多くなり、話の内容も一つのまとまったものとなり、効果的な対話行政になると思っています。

司会 対話の町づくりについて市長から説明ありましたが、みなさんからご意見はありませんか。

滝沢さん 私たちは町づくりといえは、道路をよくしたり、施設を作ったりということ、要求しがちですが、むしろ身のまわりがらきれいにしたり、体の不自由な方に気を配ったりする、精神的な面も、町づくりをすすめていくうえで、大切なことではないかと思

町づくりは精神面が大切

滝沢さん 私たちは町づくりといえは、道路をよくしたり、施設を作ったりということ、要求しがちですが、むしろ身のまわりがらきれいにしたり、体の不自由な方に気を配ったりする、精神的な面も、町づくりをすすめていくうえで、大切なことではないかと思

いますか。

市長 おっしゃる通り、道路をよくしたり、施設を作ることだけが町づくりではありません。

精神面での向上も本当に大切なことですから、市民憲章にうたわれている理想的な考えを、さらに理解してほしいと思いますね。



滝沢 京子さん



渡部 裕一さん

私たちの生活環境をよくし、住みよい街をつくるには、都市基盤整備は絶対必要であり、大切なことですので、実施してまいりますし、教育、文化、福祉対策など精神的な面も重要なものとして、市民みんなが、身障者などハンディキャップをせおった人々に、肩身のせまい思いをさせないように、明るい顔をして町を歩けるといふ人間としての、暖い気持を表わすように町のあり方、日常の生活を考えるべきと考えます。

市としても、全国的にもあまり例のない福祉対策を実施しています。例えば、六十五歳以上のお年寄りに敬老年金を支給したり、老

なかつたわけですね。今や戦後三十年を経て、あなた達のような若い人達にとっては、平和で何一つ不自由のない時代を過ごしているわけですが、最近はお前にみられなかつた「ハイジャック」とか、「企業爆破」などが、一部の若い人によって、ひき起こされていますが、残念なことですよ。公共心とか精神的な欠陥によって、事件が起きて、話題となつていますが、原因はいったいどこからきているのでしょうか。

一部の父兄の中に、今の教育のあり方が問題なのだ、という人がいます。ということは、昔の教育

広い視野と勇気をもってほしい

渡部さん これまでは、戦後のどん底から、物を豊かにするといふことで、一生懸命やらざるを得なかつたようですが、考えてみますと、精神的な豊かさを、忘れていたように思います。

市長 市民のみなさんが、精神的な豊かさを、追求していくことは、住みよくなる町づくりにとつて、大切なことであり、当然、市としてもこれを重要なこととして推進していかなければなりません。

渡部さんの言われたことは、戦後の日本人一般にそうであったと思いがすが、衣、食、住など物質面に力をいれなければ生きていけ

た。人徳の家の積極的な建設、交通運児手当月額五千円支給、肢体不自由児通園施設「のぞみ園」の温浴訓練施設の整備など、思いやりのある行政を、積極的に進めています。こうしたことは、上からの行政ではなく、自発的に生まれてくるのが良いのであつて、市では、自発的なものは、伸ばしていきたいですね。

また、私たちは与えられた環境が良ければ、清潔にしたり、守ろうとするわけですから、心を育てると同時にそういう環境を作り出す努力もしなければいけないと思

いますね。

なかつたわけですね。今や戦後三十年を経て、あなた達のような若い人達にとっては、平和で何一つ不自由のない時代を過ごしているわけですが、最近はお前にみられなかつた「ハイジャック」とか、「企業爆破」などが、一部の若い人によって、ひき起こされていますが、残念なことですよ。公共心とか精神的な欠陥によつて、事件が起きて、話題となつていますが、原因はいったいどこからきているのでしょうか。

一部の父兄の中に、今の教育のあり方が問題なのだ、という人がいます。ということは、昔の教育

は国が統制して行なったが、現在は各地域の教育機関によって、教育方針が打ち出されて、学校では、延びる者はずんずん延ばす特別指導を行ない、遅れるものは仕方がないといった先生の方針によって教育されている。

また、家庭では、大学を卒業することが、就職の門鑑です、という事で、みんなが進学をめざして、つめ込み教育をしいられる。このあり方に問題があるということですが、これが、子供に反発を招く要因となり、一部のみに、過

10年～20年の長期計画で

司会 基本的な町づくりの方向について、いろいろなお話がありました、この辺で、もう少し具体的な、身近かなところでの、お話を聞かせねがいます。

小野寺さん 市民が町づくりに関心をもって、自分の町をどういうふうにしていったらいいかを考えるのが一番大切であり、市民と職員と専門家がそれぞれの立場で協力し合い、アイデアを出し合っ、町づくりをすすめては、どうかと思ひます。

そして、話し合うための一つの組織、例えば町づくり市民会議のような、市内全域の市民代表による組織によって、アイデアを出し合う方法が、良いと思ひますが、市長 町づくりの長期計画といえる登録市総合基本構想、基本計画が、昭和四十七年十二月に策定されています。

これは、将来の登録の町づくりは、こうあるべきであるという方向を、市民あるいは、専門家と市が話し合っ、作っった一つの構想です。時代の移り変わりに対応して、見直しを行ない、この計画にした

激な行動を、起こさせているのではないか、という訳です。

私は、今の若い人たちは、幸せすぎる、満たされすぎているという感じを、持つことはあります。何の不自由もなく、欲求も十分に、満たされるということになると、人間は努力をしなくなり、弱い人間になってしまふと、思ひますので、若い人に期待したいことは、確固たる信念と強い精神力で努力を重ねてほしいし、広い視野と勇気をもって一つの方向に力強く生きてほしいということです。

がって町づくりを実施してききました。ところが、この計画は、私たち登録市民が日常生活を営んでいくうえで、公共施設はどんなものが必要かということをおぼろげにしているもので、そのほかの面にはふれていません。

私は、個性のある町づくり、市民のアイデアを集めた町づくりが大切だと思ひています。渡部さん 昨年は、不況や地方財政危機の中で、道路舗装や市営住宅、教育施設、福祉施設など、大変思いきつた施策をとられ、大事業を次々と手がけられました。私たちは、これからの町づくりに大いに興味をもっており、市政に期待をよせていますので、市長さんは、将来の登録市はどんな方向に進もうとして、いるのか。また、昭和五十一年度は何をやるのか、抱負をお聞かせください。

市長 先ほどの基本構想、基本計画の中で、市民が最も強く要望している公共施設を、昨年は思い切っった計画の先取りを行ない、建設したわけですが、将来の登録市の発展を考えた場合、これだけののだからかということをおぼろげに

づく感じるんです。例えば、登録市の顔は温泉であるといわれてきました。登録温泉だけが、市の顔で良いのだろうかというのを考えた場合、十年後二十年後に人口が七万人、十万人となった場合、登録市の位置づけは、どうあるべきか、をもっと深く、つっこんで考えていく必要があると思ひます。特に将来の登録市を背おって立つ、若い人達には、真剣に考えてもらいたい、思ひます。

総合運動公園が、その一つです。北海道では、登録市にしかないといつた、どんなスポーツでも、常時できる大規模な施設をつくり、大きな大会を開催して、集まった人は、登録温泉に宿泊させる考え方をです。

このほかにも、河川公園、市民の森、スポーツ公園などの整備計画を、今年から、手がけていこうとしていきます。総合運動公園は、今の総合体育館の周辺、山や沢を含めた広い用地を、野球場、サッカー場などの自然を生かした施設として、整備していく考えであり、市民に安い宅地を、供給するために、宅地開発も、計画していきたくと思ひます。

十年後、二十年後の先を、考えた場合、以上のようなことだけで、理想的な町づくりは、できませんから、もっと時間をかけ、市民のみなさまのアイデアを集め、専門家、あるいは関係機関の方々の、ご協力を得まして、住み良い町、住みたくなる町づくりをすすめていきたいので、どうぞよろしくおねがひします。

また、対話の機会をもちたい

市長 市は、新しく成人式を迎えられる若い方々との、新春座談会を実施することができ、有意義な時間を費やすことができ、また、こうした機会をつくって来てください。みなさんのお友達にも、話しかけていただいで、気楽にいつでも

連絡くださると、私の方からでも出かけていきます。市政のことだけでなく、そのほかのどんな話でもよろしいですから、気安く話し合えれば、幸せであると思ひます。

座談会に出た、みなさんの考え方は市政の中に取り入れるように努力していきたいと思ひます。みなさん方にとつても、市の考え方や、市政のすすめ方などいろいろなる事が理解されたことと思ひます。本日はどうもありがとうございました。

運動不足解消に 市民プールを利用しよう

冬は、家にこもりがちでな日が続く、運動不足になりやすい季節です。こうした、冬の運動不足の解消や、春、夏、秋と鍛えた体力を、さらに増進させるために、あなたは、どのような対策をお持ちですか。

市では、市民の健康増進と余暇の健全な活用のために、一年中、利用できる温水プールを建設し、昨年二月から開館しています。しかし、冬が近づくとつれて、一般の利用者は、冬に水泳を行なうと、風邪をひきやすいという誤った考えのせいか、つい遠ざかっ

てしまいます。水泳は、体力の強化につながるスポーツではありません。事実、水泳をしている方は、風邪をひかないといわれています。もし、これに疑問をもつ方は、一度おためしになつては、いかがですか。

水泳を行なつて、体力をつけ、風邪をひかぬためにも、職場の仲間とおして、レクリエーション活動やグループで水泳を習ったりして、冬の運動不足を解消し、体力増進を、はかってください。市民プールの電話番号は、登録五局五五八八番です。



写真は幼児水泳教室に集まったお母さんと子供たち

随 想

自然と私

諫早治雄



昨年十月、本校の先生達とオホホレ峠を通り、定山溪へ、小旅行を試みました。頂上へ近づくとつれ、葉を落した白い幹の白樺が、冷く光る山肌、静脈のように浮きでいる光景は、自然の巧まざる一幅の絵画でした。

思いでの樺太奥地

まさしく、ここには自然が息づいていました。しかし、こういう素晴らしい景色も、随分と少なくなっていました。都市化の傾向を、たどるのでしょうか。コンクリートでおおわれた人工物が、自然を追いやっていっています。それが結果的に、こどもたちの生活から、自然を遠ざけ、自然を理解できないこどもを、育てることになっていないでしょうか……

私は、小さい頃、樺太で育ちました。父は、王子製紙の山林部に勤めていましたので、小学生の頃から、父に連れられて釣りをしに山林や溪谷を歩いたことが、懐かしく思い出されます。

小学校五年生の時のことです。町から二十分ほど、奥地に歩いて入り、峠の山小屋に泊ったことがありました。

マベヤイワナを釣ったこと……、父が蜂に刺されたこと、暗いランブの下で、妖怪のようにはれあがった目をして、吹いてくれた、草笛の不思議な音色にひかれたことなど、鮮やかに思い出さうとすることができません。とにかく、十歳の私が一日で百匹、父であれば三百匹は軽くヤマベが釣れました。

また、川の上流に鮭が産卵のため上つて来ますが、それを浅瀬で追いかけ、ズブぬれになったり本当に豊かな川で、楽しい生活を送ったことが思い出されます。そんなことが釣りを好きにさせたのでしよう。学校を終えてから

の海釣り仕掛けを全部持って、防波堤に行き、針に餌をつけて、手で振って遠くに投げましたが、投げ損ねて、指の先に針がガッチリとく入り、小指の肉をちぎるようになって、泣きながら帰りました。

オホホレ峠のタラバ釣り

一番思い出に残っていて珍らしいと思われたいは、厳冬のタラバ釣りでしょう。

冬のオホホレ峠は氷にとざされてしまっています。私達の住んでいた知取から、東礼文という所に出かけ、岸から百層ほど沖へ向って歩き、ツルハシで氷に直径四十センチほどの穴をあけます。氷の厚さは二十センチありますが、ボツカリとあいた穴から、海の中を見ますと、冬の海は澄んで美しく、岩場や、海藻のゆらぐ様子が手にとるように見えます。こういう穴を五、六カ所にあけ、たこ糸にこまい（樺太では、かんかいと言っています）の凍っているのを、しばりつけ、静かに海底に下ろします。じつと見てみると、小さい蟹が寄ってきて、もそもそと餌を漁りますが、スーと逃げていきます。すると大きいタラバ蟹が寄ってきます。私が少し糸をひけば餌を動かしますと、餌を逃すまいと仕掛けにガッチリとしがみつきます。こうなればしめたものです。そろそろ海面近くまで引き上げると同時に、ゴムの長手袋をはいた手で、グイと蟹の足をつかまえてあげてしまします。このようにして順番に穴を見てまわりますが、一日釣りをしていますと、昔、石炭をいれて運んだかますに一ぱい、大きなタラバや花咲蟹が、四、五十ばいは取れます。それを、大きな釜でゆでて食べるのですが、そのおいしいこと、本当に楽しい思い出でした。



ったこと、川釣りで釣った草むらの蜂の巣の上に落ちて、それを拾いに行つて熊蜂の大群に追われ、広い川を逃げまわり、ついに、水にくぐって難を逃れたことなど、本当に思い出がつかまいません。

陶芸と炎と私

陶芸も、私の趣味の一つです。陶芸では、土を練り、ろくろの上で、その回転を利用して、指先一つで、いろいろの形を造っていきま

すが、土を理解する、土に逆らわない、土を生かす等、常に考えますし、最終には、火によって仕上げます。しかし作品は、何回焼成しても、同じものは二度とできません。それは、その日の風速、湿度、湿度など、自然の条件が毎日違いますし、そのことで炎の走りぐあいも異なり、作品はきまっています。

したがって、私達は、炎を、窯神として神聖視します。

私達が、最大の努力をして製作した作品の最後を、炎に委ねてしまふからです。去年の七月に、山形県の平清水焼（青龍窯）を見に行きました。当主は「私たちは数多くの作品を造って売ろうとは考えていません、本当に納得のいく作品を造りたいと常に考えます」と言われました。窯場に入つて、窯の焚き口の、しめ縄を見て、身のひきしめるのを感じました。

それは、当主の火に対する敬けんな折りにもたえ持たが、私に伝わったからです。機会があれば今年もまた、訪問して焼きもの談義でも……と考えます。

その梨地の肌は美しく、さすが昔、京焼か、平清水か、とよく

言われただけのことはあると、感激して帰ってきました。

陶芸は、土と水と炎の芸術と言われていますが、これも自然なしに成立しません。

このように、私の幼き日の思い出、また、私の趣味などを考えてみます時に、すべて自然との交流なしには考えられません。

私達はあまりにも、自然が雄大で、その恩恵の多大さに、むしろあたりまえのような状態になり、ひいては、自然を感じるとる心の喪失を招いているのではないのでしょうか……ともあれ、こどもには、自然の恩恵に浴しながら自然に親しみ、自然の法則や節理を自然の中で体得させたいものです。

市民憲章の二節に「自然を愛し力をあわせて……」とあります。路傍の小さな花にも、また、一匹の虫にも、ハッと目を見はることもできる、心の豊かさが欲しいと常々、考えます。

焼きもの、釣りで、一年も終りました。新しい年こそは……と新たな決意を抱くのは、私ばかりではありません。今一度、自然を愛することとは、と原点にもどって、皆さんと考えてみたいと思ひます。

文中の小見出しは編集者が挿入させていただきました。

諫早治雄氏

若草小学校校長。昭和二年、札幌市に生まれる。四歳の時から青年期まで樺太で育ち札幌師範を卒業後、小樽市、札幌市、若小牧市の小学校で教鞭をとり、昭和四十九年四月に現在の若草小に着任。教師歴のほか、陶芸も趣味の一つで全道展覧会、登別市の社会教育委員としても活躍されている。ご家族は奥さまと男のお子さん二人。現在、若草町1-64-3にお住まいです。

随想

川柳への道

加納愛山



胆振の西の果て、豊浦町の市街から約七、八、途中、左に谷底のぞき、右に切り立った砕石現場の岩壁を見上げ、行き交うトラックのほこりを、まともにかぶりながら、七曲がりのでこぼこ坂を、やつどの思いで登りきると、急になだらかな丘がひろがり、ぼつりぼつりと点在する農家が見えはじめる。

豊浦町桜部落である。当時、戸数五十二戸(純農村)児童数三十一名、教員三名、私がそれまで住んでいた虹田からこの桜小学校に赴任したのは、昭和四十一年の春だった。

一軒も店がなく、なにかにつけて豊浦市街までさがらなければならぬ不便さはあったが、新しい土地での新しい経験は私を夢中にさせてくれたし、自然の中生き生きとした喜びが、ようやく辺地での生活に馴れてくるにしたがって、虹田時代、仲間と時を忘れて教育を語り、社会を語り合ったことを思い出し、むしろにコミニケーションの場が欲しくなってきた。そんな時、ふと目にとまったのが

が道新の時事川柳欄であった。

それまで川柳には全く無関心で無縁であった私だったが、自分の思いを、少しでもぶつけることができそうな、時事川柳に、その場を求め、川柳の作法も、全く知らないままに夢中になって投句し続けたのである。

- ・陳情の頭上を四兆通り抜け(42)
- ・珠数よりも毒舌よりも金パッチ(今東光)
- ・青かった地球天国から眺め(ガガーリン)
- ・ピアフラの飢えへ古米ひとりごと

そして一年余、素朴な中にも真実のあたたかみを持つ、桜部落の人達との交流が深まるにつれて、時事川柳への関心もうちがらみになつていたから、若し、次の句に出合わなかったら、おそらく川柳のよさを知らないままに、早晩、川柳から離れて行ったにちがいない。(三四郎)

「口で縫うはころび誰が泣くものか」これは、昭和四十三年八月十五日、道新に「不屈の精神」(ハン)

セン氏病患者と川柳」と題して、塩見一釜氏が、紹介された中の一句である。

想像に絶する、苦惱からなお立ち上がり、明日へ向かって生きようとするハ氏病(ライ病)患者の崇高とも言える姿、そしてこの句を生み出すまでになるため、どれほどの時間が必要だったかに思いを寄せる時、この句の持つ真実の哀しみが惻々と私の心を打ち、感動に胸をふるわせたのである。

そして、これも川柳であるなら私は、これからも川柳を続けて行こうと、決心したので、この出会いにはまさか奇遇であった。

それからというもの、川柳の本を探し求めむさぼるようになつたのだが、私が考えていた川柳(だじゃれ、くすぐり、からかい等)が、実は狂句であったことを知り川柳の三要素といわれているユーモア・軽味・うがちもその底にあたたか味がなければならぬこと今の川柳は、三要素プラスアルファ(真実味、詩性味、人情味等)の、多くの要素から詠まれる「ころの詩」であることなども学んだ。こうして、私の川柳も少しづつ変わっていったようである。

・童話に住む猫だぼくも信じよう
・のひらの小さな夢を抱き続け
・吠えてからあとと鎖が重すぎる
・辺地だってドッコイ生きてる詩がある

そして、この頃から社会性に乏しいといわれていた、桜の子らに自信と積極性を育てるための一方法として川柳をとり上げてみた。

手
・文明の足音自然を消してゆく
これらの作品は、学校通信「さくら」を通じて、毎月家庭に届けられ、やがて、子どもに刺激された、父母の作品が寄せられたのがきっかけとなつて、部落全体にその輪がひろがっていった。

・母の子のドッジボールが対話する
・セットした髪そのままに畑を打つ
・雨雲をみんなでならむ脱穀日
・夕焼けに明日の作業を語り合う
・明日を刈るモーアに詩あり心あり

畑仕事をしながら詩情のメモ、みんな寝静まってきたの作句、うた日記、家族ぐるみの投句など、その意欲には、ほんとうに頭の下がる思いだった。

昭和三十五年四月、送別の川柳に送られた私は、まだ雪深い桜部落に別れを告げ、ここ登別温泉小学校の分教室である、肢体不自由学級「ひかり学園」(登別厚生年金病院内)に、赴任してきたのである。

以来六年間、肢体不自由という不幸を乗り越えて、強く生き抜いていくための、心のよすがになれたいと思ひ、学園での川柳指導を続けてきたが、遠く親からはなれた淋しさ、開病の苦しみに耐えながら、なお明日へ向かって明るく歩き続けようとする、健気な子ども達の作品から、私自身教えられることが多かった。

最近の作品は、広報のほりべつに掲載させていただいているので旧作の中から紹介してみよう。

・ままならぬ右手だけれどわたしの手
・会いに来たがこんな父に熱いもの
・不自由なからだ寄せ合い笛を吹く
・びっこでも歩けるわたしはあわせね

ここで、私自身に戻りますが、登別に来た昭和四十五年の九月末、突然電報が届いた。「タイカイニ、セビッシュセキサレタシ。北見川柳社」その年の、北海道川柳大会が、北見市で開かれることになつていたので、作品の応募はしたものの、北見までわざわざ出向くような開催も句会大会もないので早速不参加の返事をしたところ、折返し更に出席要請電がきたのには、すっかり恐縮してしまい、三日後に迫った大会に急ぎよ出席することに決め、十月十日大会場へ出向いたのである。ところが、一歩会場の中に足を踏み入れた私の目に、特選「砂丘ある限り少年夢を積む」と大書された、私の作品が飛び込んで来たではないか。

生まれてはじめて手にした、大杯のずしりとした重み、帰りに通った層雲峡の紅葉が、殊のほか美しかった。

さて、私が川柳と出会ってから

・ひたむきに走る未完の譜を抱いて
・善人の貌で童話を喰べに来る
・一粒の涙が父を刺しに来る
・車椅子走れ夕陽が持っている
・夕陽抱く地の哀しみのひろがり

文中の小見出しは、編集者が挿入させていただきました。

もう九年目。いよいよ川柳の魅力から脱け出すことができなくなつてしまったなあと思う昨今である。そして川柳、このすばらしい文化遺産、人間讃歌を既成柳人だけのものにしておきたくない思いにいつもかられるのである。

幸い、三年前に誕生した登別川柳社(市文化協会川柳部)が、毎月の柳誌発行と川柳のつどい、とともに「市民に川柳の輪をひろげよう」をテーマとして、地道な運動を展開、着実に成果をあげてきているが、私もまた、川柳文芸発展のために、今年もこつこつ歩き続けて行こうと思う。

川柳抄
加納愛山

・まいる瞳が童話をこくりこくり呑む
・ことばなどいらぬ母の手の温み
・暗れてくる予報にはずむにぎり飯

・ひたむきに走る未完の譜を抱いて
・善人の貌で童話を喰べに来る
・一粒の涙が父を刺しに来る
・車椅子走れ夕陽が持っている
・夕陽抱く地の哀しみのひろがり

・ひたむきに走る未完の譜を抱いて
・善人の貌で童話を喰べに来る
・一粒の涙が父を刺しに来る
・車椅子走れ夕陽が持っている
・夕陽抱く地の哀しみのひろがり

加納愛山氏

本名 加納虎男
登別温泉小学校特殊学級「ひかり学園」教師。昭和四年、白老町虎杖浜に生まれる。岩見沢青年師範学校卒業後、豊浦、虹田、虎杖浜、室蘭市のそれぞれ小・中学校の教師を経て、昭和四十五年四月に「ひかり学園」着任。
川柳先生としても名が知られており、小樽川柳社、川柳岡山社の同人で、登別川柳社事務局長をされている。北海道川柳大会特別作品賞、北海道川柳連盟賞、ブラジル川柳大会(世界六カ国)特定選者による選で準優勝。ご家族は奥さまと女の子二人、お住まいは登別東町4-31です。



川柳

◎ひかり学園

小1 難波 賢一
木のはっぱさようならと
ちつてゆく

小3 島 修一
退院が向こうの山で待っている

小3 安田 則子
かあさんが来てくれたから
落ちついた

小3 金丸 明美
あの虹をわたって家に帰りたい

小3 井上 孝治
かあさんを来させてくれない
雨のばか

小3 広岡 和美
かなしみを歌をうたって
吹き飛ばす

小6 中島 義晴
さびしいとき山も泣いている
ように見え

小6 宇佐美宜昌
がんばるぞこの骨早くなおすんだ

小6 天野 鉄衛
あまえるなほくをはげます父の声

◎登別市商工青年学園
遠飛八重子
ちょっとだけ酔った振りして
愚痴を言い

加藤 寧子
学園の語らい楽しく歩を運ぶ

中畑 純枝
水鏡のぞいて見たい乙女月

木下 克顕
天高く子らのねがいを風に乗せ

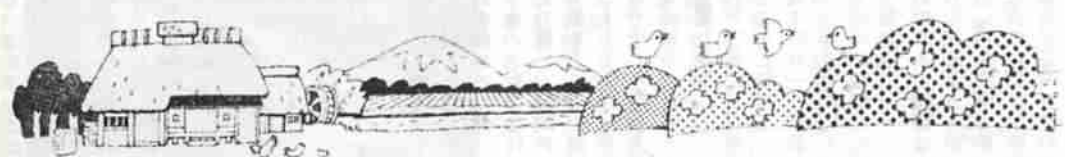
畑辺 秀棋
恋人の肩に手を置く夢の中

田中早代子

一つぶの涙の意味を教えたい
梅 美智子
溜息をついて数えて待つ返事
山川真理子
はじめての口紅デパートが
待っている
山王 克己
飲んで来てテーブルで待つ
さげ茶づけ

◎一般
畑 虹児
休みたい朝も弁当出来ている
小林 碧水
電動のオモチャの中で童話枯れ
勝間美貴代
姑の味田む夕餉のまるい膳
加納 美舟
茶柱がこんなに母をよろこばせ
三春日満寿
労りの声より欲しい福祉の手
志水 点滴
素晴らしい嘘が浮かんで
明日へ寝る
錦織 玲華
随ちていく決意を乗せた終列車
田沢 政枝
虹を追う母にびったり子も続き
沢野 秀湖
米をとぐリズムが明日の予定組み
南 佐智
味付が母に似た店またくぐり
石山 香雨
強がりの杖に子の手をそっとそえ
和田 ヤエ
ふた昔経って青春娘に語る
種田 琴舟
見上げればニキビの中にある笑い
小森美保子
やきもちもあって夫婦の和を保ち
竹田 保治
どん底ではじめて知った人の情
工藤 朗風
親のない子の笛心に泣いて来る
首藤 政子
物言わず列を生み出す工事灯
宮田しげる

市民文芸



新聞のチラシに走る時計の
裏鏡 清
地下足袋に汗がまだらな
地図を描き
女沢ハツネ
ひとり言話して傾く父の皺
加納 愛山
木枯しを背負って昏れる父の坂

岩水 福次
プラモデル孫と組みつつ小半日
籠へぬあせりの心遊ばす
中田 ミヨ
屋根に置くつゆ霜水の珠となり
すじなして落つ陽の耀よえば
猪狩テツ子
遊びより持ち帰る野菊をば
五歳の娘はコップに飾りて
辰田陽登志

置き忘る子の自転車に秋の風
青山 薫
日高路の夕陽遙かに花芒
仲町 ヨシ
愛の羽根愛のひとつと胸にとめ
高木 美代
誘いきて話すまにまに菊ちぎる
中里 ユキ
虫の音を聞きわけここに住み
古りぬ

◎登別歌人会
文化祭記念歌会録草
山下 静
とりどりの小菊器に盛り分けて
ままことの子等夕光の中に
中村 肆基
枕燈に秘めごとめける本読みて
温もりおそき足ぢぢめ居り
中村加津子
やはらかき三ツ葉さがしにて
ふと舐れし残り穂にそのさやさ
やとなる
堤 道彦
おそ秋の陽の傾けば地のしめり
わずか残していよいよ冷えつく
吉田 文枝
かつら木の黄葉ゆらくトンネルを
パスは走れり八甲田峠
川西久米子
さわだちてギンドロポプラ返す葉
をまぶしむいたり丘の上に来て
宮武 春枝
素枯れたる野辺にまゆみの赤き花
瞳に鮮らしく車窓に追いつく
小林 房子
壺や皿焼かれて生るる窯変の
極まれる音は夜をひきしむる
白井長流水
湯煙の蒙々と湧く大湯沼
いで湯の里の秋の夕暮
大西 和子
のがれ来しキリスト教徒の標として
織部灯籠有珠に残れり
渡辺 澄江
米寿までも白寿までもと子の願い
籠めつつ初秋の湯煙やさし

原 タメ
尾で疊たたいいし猫はうす目あけ
縫う手止めれば膝に上り来
今田ヒデ子
がんに伏し笑みし遺影よつとめ終
え地にかえりゆく木の葉にも似
て

千葉 風雨
草風湯舟の中にふくらめり
木村 凍郷
遠くから豆腐屋が来る鱈雪
田淵 キヨ
秋晴れや市民まつりのおどりの輪
◎恵寿園
もぎたての唐黍孫の背に持たす
丹野 クラ
食欲をそそる屋台の黍匂う
中山 ミヨ
唐黍を食べようとして回しをり
館崎 喜代
夜なべして孫の晴着を縫いおりぬ
島内 秀次
夜なべするかたわらに來て
子が寝る
松岡 信市
萩の花こぼれて蜂のあまたいる
加賀谷みつ
ひと寝して窓を開ければ残り虫
岡本 文雄
赤とんぼ命近しと狂い飛ぶ
片桐 アサ
娘の旅行ハガキが届き安堵する
高山 きわ
老いらくの恋心湧く薄暮かな
増田 菊代
辞書を繰る手先に灯火引き寄せぬ
丸山 テル
とうきびを食べつつ祖母の話聞く
菅原ハルニ
こおろぎのコーラスダムの夜の深
さ

俳句

佐藤寒帯荘
小野たかし
白鳥の湖に秋陽ひかり溜め
川口 静波
鉄塔に満月も置き父も酔う
大西 素牛
鶏頭の燃えてすさびし炭住街
市岡美智子
秋の風フラットホームを鳩歩き
土屋 静風
山ひとつ吹き抜けてゆく秋の声
今野 広人
構内の隅まで野分貨車放つ
中田 暁村
離れ住む娘を憶う日々離わたる
斎藤 鮎村
秋の暮砂場の人形迎向けに
菊地 久子

渡部 清二
もぎたての唐黍孫の背に持たす
丹野 クラ
食欲をそそる屋台の黍匂う
中山 ミヨ
唐黍を食べようとして回しをり
館崎 喜代
夜なべして孫の晴着を縫いおりぬ
島内 秀次
夜なべするかたわらに來て
子が寝る
松岡 信市
萩の花こぼれて蜂のあまたいる
加賀谷みつ
ひと寝して窓を開ければ残り虫
岡本 文雄
赤とんぼ命近しと狂い飛ぶ
片桐 アサ
娘の旅行ハガキが届き安堵する
高山 きわ
老いらくの恋心湧く薄暮かな
増田 菊代
辞書を繰る手先に灯火引き寄せぬ
丸山 テル
とうきびを食べつつ祖母の話聞く
菅原ハルニ
こおろぎのコーラスダムの夜の深
さ

佐藤寒帯荘
小野たかし
白鳥の湖に秋陽ひかり溜め
川口 静波
鉄塔に満月も置き父も酔う
大西 素牛
鶏頭の燃えてすさびし炭住街
市岡美智子
秋の風フラットホームを鳩歩き
土屋 静風
山ひとつ吹き抜けてゆく秋の声
今野 広人
構内の隅まで野分貨車放つ
中田 暁村
離れ住む娘を憶う日々離わたる
斎藤 鮎村
秋の暮砂場の人形迎向けに
菊地 久子

知っておこう国民年金



サラリーマンの奥さんめせひ 国民年金に

合などの公的年金制度に、加入していない方
○希望によって加入（任意加入）できる人：厚生年金や共済組合などの公的年金制度に、加入している方の配偶者、年金や恩給などを受けている方、または受けることができる方

中央町の高橋英明さんは、はたちを迎えてすぐに、入れられました

ここ数年、福祉行政に対する国民意識は、一段と高まりつつあり特に、老後のくらしや不測の事故にそなえて、年金制度への関心は一層強まっています

国民年金制度は、昭和三十四年に創設され、わが国の年金制度のなかでは、一番新しいものです。それだけに、未熟な点も多いわけですが、年々改善の手が加えられ一歩一歩前進しています

また、年金制度に関する論議も一段と活発になっていく時、市民の方々の間には、この制度への疑問や不明な点が色々あることとされていますので、国民年金制度の概要をお知らせいたします

国民年金に加入できる人

国民年金は、日本国民で国内に住所を有する二十歳以上六十歳未満の方が、国民年金に加入できます

○必ず加入（強制加入）しなければならぬ人：厚生年金や共済組合

※奥さんが国民年金に加入した時と、加入しない時の年金額は、第一表のとおりです

国民年金の加入

国民年金に加入している方で、より高い給付を受けた方は、希望により附加年金に加入することができます

保険料と納入

保険料は、加入を申し出た月分より、納めることとなります。保険料は、次の二とおりがあります

○定額保険料：月額一千百円

○附加保険料：月額四百円

保険料を納める期間

国民年金の老齢年金は、保険料を納めた月数と、保険料の免除をうけた月数を合わせた期間が、二十五年以上ある方に、支給されるのが原則です。任意加入者については、この限りではありません

最低必要な期間

○昭和五年四月二日以後に生まれた方：二十五年以上
○昭和五年四月一日以前に生まれた方：生年月日に応じ、十年から二十四年に短縮しています

（第二表参照）

保険料の納入が困難な方は、保険料を納めようと思っても、いろいろな事情で納めることが困難な方のために、保険料を免除する制度がありますので、申し出てください

この免除を受けた方が、その後経済的に余裕ができたときに、免除された期間のうち、十年前にまでさかのぼって、納めることができます

また、保険料を納めた方と免除を受けた方とは、将来、年金額に差がでますので、できるだけ追納するようにしてください

給付の種類

国民年金給付の種類は、次のとおりです

○老齢年金（八種類）
○老齢年金：被保険者が六十五歳になったときから支給されます

○障害年金：被保険者が病気やケガで障害になったときから支給されます

○母子年金：生計中心者の夫が死亡した時、十八歳未満の子を養う妻に支給されます

○準母子年金：生計中心者が死亡したとき、弟妹を養う姉や孫を養う祖母に支給されます

○遺児年金：父か母が被保険者であつた子が孤児になったとき、十八歳まで支給されます

○寡婦年金：夫と死別した婦人に六十歳から支給されます

○六十歳からは本人の老齢年金が支給されます

○通算老齢年金：被用者年金と国民年金を通算（二十五年以上）した被保険者に、六十五歳から支給されます

○死亡一時金：加入して三年以上保険料を納めた被保険者が亡くなったとき、納付期間に応じて遺族に支給されます

○福祉年金（五種類）
○老齢福祉年金：明治四十四年四月一日以前に生まれた方が、七十歳になったときに支給されます

○母子（準母子）福祉年金：義務教育終了前の子、孫、弟妹を養っている母、姉、祖母に支給されます

○障害福祉年金：病気やケガで障害を受けた方に支給されます

○老齢特別給付金：明治三十七年一月二日から同三十九年四月一日以前に生まれた方が、七十歳に達するまで支給されます

なお、七十歳に達すると自動的に老齢福祉年金になります

○所得制限
年金を受ける本人や、配偶者または扶養義務者の前年の所得が、一定の額を超えると支給を受けられなくなります

○併給制限
受給権者が、公的年金を受けることができる方には、支給できませんが、受けている年金額が二十四万円未満のときは、その差額が支給されます

なお、戦争公務に基づく公務扶助料、増加恩給を受けている方で大尉以下の旧軍人、または、その遺族であるときは支給されます

気軽にご相談を

これからの老後は、年金で生活する事になります

あなただけ、年金からとりのこされることなく、いま一度、あなたの将来の年金はどうなっているか確かめて、気軽に市役所保険年金課（電話5局2111内線235）にご相談ください

香典返しに たばこをどうぞ

「たばこは市内で買いますよ」と、市民のみなさまに呼びかけてから、三年あまりになりました

昭和四十七年度の収入が、九千百万円であったのが、なんと今では、約一億四千万円（昭和五十年年度決算見込み）になり、市税収入の約十一割を占めるようになりました

道路舗装を実施し、環境が整備されていくなど、市の行う事業にはみなさんが、市内から買われるたばこからの税金が、重要な役割を果しています

そこで、市ではたばこ消費税の増収をはかるために、冠婚葬祭用に、たばこを利用してもらおうと考えています

葬儀用の香典返しには、たばこの使用をおねがいし、結婚式の引き出物にも、たばこの利用をねがっています

香典返し用のケースは、登別市たばこ販売協議会が作製したもので、シートピアスまたは、チェリーが二個入るようになっています

どうぞ、たばこを御利用ください

くわしいことは、市税務課市民税係か、お近くのたばこ販売店におたずねください



成人を機会に国民年金に加入

第1表 夫婦で受ける老齢年金額（月額）の例

夫の厚生年金加入期間 妻の国民年金加入期間	20年		25年		30年		35年	
	円	円	円	円	円	円	円	円
妻が加入しない時	59,000	73,150	87,300	94,375				
妻が加入した時	20年	87,762	101,912	116,062	123,137			
	25年	92,300	106,450	120,600	127,675			
	30年	98,960	113,110	127,260	134,335			
	35年	105,620	119,770	133,920	140,995			

二歳児の半分以上が虫歯

二歳児歯科検診結果

去る十月十五日から、六日間にわたって、各地区公民館で、歯科医師、歯科衛生士、保健婦の方々による「二歳児歯科検診」が行なわれました。

歯科検診は、三歳児検診のときにも、行なわれていますが、三歳児では、虫歯の保有数も、八十五割と高く、三歳前に歯科対策の必要性が望まれていました。そこで、歯科医師の協力で、乳歯の生えそ

ろった二歳児に「虫歯の早期発見・早期治療」「虫歯の予防」「精神・身体発育における異常の発見」「日常生活習慣の確立」などを目的としてこの検診が行なわれました。

検診の内容は、市内の歯科医師の検診と講演「虫歯について」を初め、歯科衛生士によるハミガキ指導、フッ素塗布、保健婦のおやつ指導、育児相談といった内容で受診者に大変好評でした。

検診の結果をみると、受診者三百十九人に対し、虫歯のある方は

第3表 提出年金

種別	改正前		改正後		
	年金額	月額	年金額	月額	
老齢年金	5年年金	111,456	9,288	135,840	11,320
	10年年金	174,150	14,512	212,250	17,688
	25年納付	278,640	23,220	339,600	28,300
附加年金	25年納付の場合 60,000		5,000	同左	同左
障害年金	1級	348,300	29,025	424,500	35,375
	2級	278,640	23,220	339,600	28,300
母子・準母子年金	278,640	23,220	339,600	28,300	
遺児年金	278,640	23,220	339,600	28,300	

第4表 福祉年金

種別	改正前		改正後		
	年金額	月額	年金額	月額	
老齢福祉年金	90,000	7,500	144,000	12,000	
障害福祉年金	1級	135,000	11,300	216,000	18,000
	2級	90,000	7,500	144,000	12,000
母子・準母子福祉年金	117,600	9,800	187,200	15,600	
老齢特別給付金	66,000	5,500	108,000	9,000	

全体に虫歯のある方十八人（五・七割）となっており、これからの虫歯予防と早期治療が、大切と思われま

す。子供の歯は、生まれかわるからと油断してはいけませんし、身体の健康は、良い歯からといって過言ではありません。今後、この二歳児歯科検診を行なっていく予定ですので、二歳児の健康管理をしていく上でも、ぜひ受診してください。

また、虫歯の型を区分すると、一本も虫歯のない方百二十八人（検診総数の四〇・一割）、一部虫歯の方百七十三人（五四・二割）、



歯科医師の協力を得て、虫歯予防に関する講演と検診を実施

第5表

区分	扶養親族等の数	所得所属年 49年	
		円	円
本人の所得	0	600,000	
	1	762,500	
	2	982,500	
	3	1,202,500	
	4	1,422,500	
配属義務者の所得	0	1,642,500	
	1	1,632,500	
	2	1,852,500	
	3	2,072,500	
	4	2,292,500	
扶養義務者の所得	0	2,512,500	
	1	2,732,500	
	2	6,019,300	
	3	6,306,800	
	4	6,526,800	
その他	0	6,746,800	
	1	6,966,800	
	2	7,186,800	
	3		
	4		

第2表 老齢年金を受けるに必要な保険料納付期間

生年月日	必要期間
大正5年4月1日以前に生れた人	10年
+5年4月2日-大正6年4月1日生れた人	11年
+6年4月2日-7年4月1日生れた人	12年
+7年4月2日-8年4月1日生れた人	13年
+8年4月2日-9年4月1日生れた人	14年
+9年4月2日-10年4月1日生れた人	15年
+10年4月2日-11年4月1日生れた人	16年
+11年4月2日-12年4月1日生れた人	17年
+12年4月2日-13年4月1日生れた人	18年
+13年4月2日-14年4月1日生れた人	19年
+14年4月2日-15年4月1日生れた人	20年
+15年4月2日-昭和2年4月1日生れた人	21年
+昭和2年4月2日-3年4月1日生れた人	22年
+3年4月2日-4年4月1日生れた人	23年
+4年4月2日-5年4月1日生れた人	24年
+5年4月2日以前に生れた人	25年

スポーツ短信

スイミングクラブの会員募集
登録スイミングクラブの会員になりませんか。

このクラブは、競泳をとおし、体力の増進と、技術の向上をめざす目的で、行なうものです。

会員の条件は、小学生以上の初心者なら入会できますので、多くの方の入会をお待ちしています。

▽募集人員 六十名
▽クラブ費 入会金 一千元
月謝 二千五百円
▽受付締切り日 一月二十五日
▽受付及び問い合わせ先
市民プール（5局5588）の
三上まで。

※二月二日より、週二回午後五時から七時まで行ないます。

第二回福井杯卓球大会
は、十一月三十日総合体育館で五十名の選手が参加して、ひらかれ

ました。成績は次のとおりです。

決勝戦
寺田・佐藤（市教委）組
竹口・中村（登録）組 3-0
福井杯とは、昭和四十九年春、福井重夫さん（当時自衛隊勤務で登録の庭球発展に貢献）が、長崎県に転勤の時、登録のテニスがままです発展することを祈り、寄贈されたものです。

第三回インドア軟式庭球大会を次のとおり開催します
多数ご参加ください。

とき 一月二十五日（日）
午前九時三十分

ところ 総合体育館
主催 登録市体育協会
主幹 登録軟式庭球協会
種目 一般男女（高校生含）

くわしいことは、電話5-12062中村または、5-15552総合体育館にお問い合わせ下さい。

冬休みの非行防止

冬休みの非行防止
冬休み中に非行にはしる
少年がふえています



ご寄贈ありがとうございます

ごさいます

〈社会福祉協議会へ〉

○愛情銀行
パルイイ殿・二千八百八十九円、庄司殿・一千円、プリンスホテル殿・一千九百円、桐木正晴殿・一千五百円、匿名・一千円

○古切手寄贈
養父国弘殿・五千四百六枚、プリンスホテル殿・四千八百八十枚、小山文字殿・六百五十枚、持丸虎太郎殿・百六十二枚、上村殿・百三十二枚

○物品寄贈
福本捷三郎殿・衣類百点、藤瀬登殿・衣類七十五点、山本耕佐殿・衣類四十点、吉岡ヤニ殿・衣類五十点、川北文雄殿・衣類四十一枚、川北正文殿・衣類四十六枚、老人クラブ緑寿会殿・雑巾百五十枚、上村殿・毛織子供手袋二十枚、匿名・衣類十八点

おしらせ

新入学児童の健康診断

教育委員会では、来年四月に入學する児童が、よりよい健康状態で入學できるように、次により健康診断を行ないますので、該当される方は必ず受けてください。

昭和四十四年四月二日生から昭和四十五年四月一日生まで
※お問い合わせは学校教育係へ
なお、対象児童のいる家庭には十一月十七日現在で住民登録台帳により調査し、すでに通知している健康診断日程表

月	日	曜	受付時間	場所	対象校
1	27	火	13:30~14:00	鷺別公民館	若草小学校
1	28	水	13:30~14:00	〃	鷺別小学校
1	31	土	13:30~14:30	中央公民館	幌別西小学校
2	3	火	14:00~14:15	登別温泉公民館	登別温泉小学校
2	4	水	13:30~14:00	中央公民館	幌別小学校
2	5	木	13:30~14:00	登別公民館	登別小学校
2	6	金	13:30~14:00	鷺別公民館	鷺別小学校
2	10	火	13:30~14:00	幌別生活館	幌別東小学校

※鷺別公民館、幌別生活館においでの方はスリッパをご用意をお願いします。

ますが、通知書が届いていない方は、また、その後に入らされた方は、学校教育係（電話五局二二一一内線三四七）へお問い合わせください。

三種混合を再開

二歳以上を対象

昨年二月、三種混合による事故が相次いで発生し、「中止」の措置がとられました。お子さんをお持ちのお母さん方から、再開の時期、方法等についての問い合わせが数多く寄せられました。

当市では、一月二十日より、次の日程により三種混合を再開しますので、お知らせいたします。

再開するにあたっては、次の要領により行ないますので、十分注意のうえ、接種を受けるようにしてください。

▽接種対象
 第一種：生後二十四ヶ月以降三十六ヶ月
 第二種：生後二十四ヶ月以降四十八ヶ月

▽中止による接種未了者の取扱い
 第一期完了者：第二期を受ける
 第二期完了者：第三期を受ける
 第一期二回済：今冬から二期を受ける
 第二期一回済：今春から二期三回を受ける
 二歳児以上の未接種者：今春から二期三回を受ける

▽一般的注意
 体温は家で計ってのこと。
 母子手帳を必ず持参すること。
 関係のない子は、会場が混雑するのでつれてこないこと。

胃の集団検診を受けよう

実施場所	時間	子 防 接 種 名			
		三種混合	ジフテリア	ツ	反 B C G
ひまわり園	午後1:00~1:30	1月21日			
鷺別支所	午後2:00~2:30	1月21日			
富浜児童館	午後1:00~1:30	1月20日			1月29日
中央公民館	午後1:00~1:30	1月22日	1月22日	1月27日	
登別支所	午後1:00~1:30	1月21日			
登別温泉支所	午後2:00~2:30	1月20日			

※中央公民館での定期予防接種会場が変更されることがありますので十分注意してください。

一月の健康相談

毎週木曜日、みなさんの身体や心に関する相談に応じています。一月の相談日は次のとおりです。で、ご利用ください。

▽実施月日及び受け付け時間
 一月十六日・二十二日・二十九日

午前部 十時~十時三十分
 午後部 一時~一時三十分

▽内容
 午前：成人病相談（生活・食事指導）
 午後：妊娠相談、家族生活相談

午後：赤ちゃん相談（六ヶ月児九ヶ月児）その他相談のある乳幼児（育児指導）

場所 中央公民館和室

赤ちゃん検診

市では、医師、保健婦、栄養士による赤ちゃん検診を次の日程で行ないますので、対象者は必ず母子手帳をご持参ください。

▽一月二十日（鷺別公民館）
 受付時間 十二時~十二時三十分

対象児 昭和五十年十月生まれ
 一月二十一日（中央公民館）

市では、医師、保健婦、栄養士による赤ちゃん検診などの指導を行ないますので、対象者はもちろん受診され、お子さんの健康を確かめ楽しい生活を送ってください。

▽対象者
 昭和四十七年八月一日~昭和四十八年一月三十一日までの出生児。

※母子手帳をご持参ください。

検診料
 国民健康保険加入者四百五十円
 生活保護世帯 五百円
 受診当月七十歳以上 五百円
 一般（右記以外） 一千五百円

▽申し込み期間
 一月十二日~一月三十日まで

▽申し込み先
 市保健衛生課健康相談係が最寄りの支所に申し込みください。

※国民健康保険で受診される方は必ず保険証を持参ください。

三歳児検診

市では、医師、歯科医、保健婦、栄養士による、三歳児検診を行ないます。

検診内容は、心身の発育状態、栄養指導、歯科検診などの指導を行ないますので、対象者はもちろん受診され、お子さんの健康を確かめ楽しい生活を送ってください。

▽対象者
 昭和四十七年八月一日~昭和四十八年一月三十一日までの出生児。

※母子手帳をご持参ください。

検診料
 国民健康保険加入者四百五十円
 生活保護世帯 五百円
 受診当月七十歳以上 五百円
 一般（右記以外） 一千五百円

▽申し込み期間
 一月十二日~一月三十日まで

▽申し込み先
 市保健衛生課健康相談係が最寄りの支所に申し込みください。

※国民健康保険で受診される方は必ず保険証を持参ください。

実施月日	実施場所	受付時間	対象地区
2月3日	登民会館	12:30~13:00	登別温泉・カナルス・中登別・上登別・札内・登別本・登別東・登別港・富浦
4日	鷺別公民館	9:30~10:00 12:30~13:00	鷺別・上鷺別・美園・富嶺・若草・青葉・栄・若山・大和・新生
5日	中央公民館	9:30~10:00 12:30~13:00	中央・常盤・柏木・片倉・鯨山・幌別・来馬・川上・藤・新川・富士・千歳・幸・(大和)(若山)・新栄・桜木・(札内)
6日	中央公民館	12:30~13:00	

除雪作業に協力

冬の交通確保にとって、除雪作業は最も重要なものです。その作業は能率的、かつ、スムーズに行なわなくてはなりません。そのためには次の点にご協力ください。

路上駐車は止めましょう。
 路上駐車で前後に雪が残るだけでなく、吹雪の時や夜間には事故の原因になります。
 歩道や車道に雪を捨てないようにしましょう。
 路上でのスキーやソリ遊びは止めましょう。
 屋根に雪止めをつけましょう。
 道路に器物や商品を置かないようにしましょう。
 ※除雪車の通過後、家の前などに雪溜りができますので、こ了解くください。

はたちの式典 成人式

一月十五日は成人の日です。この日、あらたに成人として、果立つ若人の輝やかしい将来を祝って午前十一時から総合体育館で、式典と祝賀パーティーを行います。ことし成人式を迎えるのは、昭和三十年一月十六日から昭和三十一年一月十五日までに生まれた方で、市内に約七百名おられます。

これらの新成人の前途をお祝いするため、市内の町内会長をはじめ、各団体の代表の方々も多数出席することになっていきます。

成人式の案内状は、十二月二十五日まで届くようになっていいますが、もし届かない方は、市社会教育課（電話五局二一一内線三五〇）までご連絡ください。

なお、当日は幌別西口駅前から総合体育館まで専用バスを運行します。バス運行時間

▽バス運行時間
幌別西口駅前発 十時

人権講演会を開く

札幌法務局室蘭支局と室蘭人権擁護委員協議会の主催によって、登別市内では、初めての人権講演会を開くことになりました。

講演会は、人権モデル地区指定による一環事業として、開催するものですので、ぜひお気軽におこしください。

と き 一月二十三日（金）

午後一時から二時半迄

ところ 中央公民館二階ホール
テーマ 婦人と家庭と人権
講師 増沢康正氏（札幌法務局人権擁護部長）

保育所入所児童を募集

市内保育所（登別、本町、富浦富士、鷺別、上鷺別、川上）の入所児童を募集しています。

現在の富士保育所は、富士地区の人口増で不便をかけたが、昨年より既設の富士保育所に新築して、現在の定員六十名から百二十名に増やし、〇歳保育（生後六ヶ月以上）と一歳・二歳児の保育も行ないます。

▽申請書交付及び受付期間
一月二十日～二十七日まで
▽申請書交付及び受付場所
市福祉事務所社会課各支所で行ないます。ただし、上鷺別保育所のみ当該保育所で行ないます。

▽入所資格
満三歳以上（富士、川上、鷺別保育所は生後六ヶ月以上）で次のような児童です。
母親が昼間家庭外で、仕事をしたり、家庭内で子供と離れて家事以外の仕事をするために、保育できない家庭
母親の出産前後から心身の障害で保育できない家庭
母親のいない家庭

募集予定児童数

保育所名	3歳未満児	3歳以上児	募集児童数
富士	20	68	88
本町		28	28
鷺別	9	44	53
上鷺別		34	34
登別		25	25
川上	4	19	23
富浦		13	13

指名願を受付ます

51年度の土木・建築工事

市では、昭和五十一年度の土木および建築工事業者の指名願を、次のとおり受け付けます。

- ▽申請書
申請書の様式は、北海道指定様式に準じます。
- ▽提出先
申請書は市土木課管理係へ提出してください。
- ▽受付期間

経済評論家

斎藤栄三郎氏来る!!

第一回新春講演会を、登別商

工会議所、登別法人会の主催で行ないますので、多数のおいでをお待ちしております。

▽演題 一九七六年の日本

▽講師 斎藤栄三郎（経済評論家）

▽日時 一月三十一日、午後一時～三時

▽場所 登別商工会議所三階ホール

▽入場料

無料ですが、入場者には整理券を配布いたしますので、一月二十五日までに申し込みください。

▽申し込み先・問い合わせ先
登別商工会議所（電話五局四一一）

検定試験を実施

二月二十五日、午前九時から商工会議所で、一級小売商（販売士）検定試験が行なわれます。多数の方の受験をおまわししています。

一級小売商

第一次 一月十六日から三月十日まで
第二次 四月二十日から五月三十日まで
▽問い合わせ先
市土木課管理係（電話〇二一一内線248）

▽受験資格

義務教育を修了した方ならどなたでも受験できます。（一・二級の販売士を経て受験する必要はありません）

▽試験内容

筆記試験と面接試験があります。筆記試験では、経営とマーケティング、組織と人事管理、市場調査と立地分析、商品計画、仕入計画と管理、在庫管理、販売計画と管理、経営計算の八科目が課されますが、今回限り、科目別の合格が認められています。

▽申し込み締切り日

二月五日までです。

▽申し込み先・問い合わせ先

登別商工会議所（電話五局四一一）

無担保、無保証人

低利の融資制度をご利用ください

商工会議所の推せんで、無担保無保証人、低利の「小企業経営改善資金融資制度」が利用できます

▽推せんを受けるためには、以前から会議所の経営指導六ヶ月以上受けていたこと

最近一年以上、登別市内で事業を行なっていること
所得税、法人税または市道民税を完納していること
▽融資対象
商業、サービス業は従業員二人以下、製造業その他は従業員五人以下（いずれも、事業主と家族従業員は除く）

▽貸付金額
運転資金 百万円以内
設備資金 二百万円以内

▽貸付期間
運転資金 二年以内
設備資金 三年以内

▽利率
年七・二割、担保・保証人は必要ありません。

▽受付期間
受付はいつでも行なっています

融資枠は、年四回にわかれていますが今回の融資枠分については限度額に達しだい締切らせていただきます。

▽融資推せん方の申し込み先
登別商工会議所（電話五局四一一）

▽問い合わせ先
登別商工所か市観光工課商工振興係へお問い合わせください。

自動車安全運転センター開設

昭和五十一年一月一日から、特殊法人、自動車安全運転センターが発足し、道内五方面に事務所が開設され、次の業務をはじめます。

☆ 交通安全証明書の発行
現在、警察署で発行していますが、昭和五十一年一月一日からはセンターの事務所で行ないます。一枚四百円の子定です。申請書

は、警察署、派出所、駐在所、損害保険会社、農協にあります。申請手続きは、最寄りの郵便局から手数料を添え申請するか、直接事務所の窓口へ申し込んでください。

☆ 運転経歴証明書の発行
自分の運転経歴について、無事故、無違反の証明が必要な方、交通違反の現在の点数を知りたい方などに、本人の申請により証明書を発行します。一枚六百円の予定です。

申請手続は、交通事故証明書と同じです。

☆ 免許停止直前の点数通知
交通違反などの点数が、運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった方に、センターから郵便でお知らせします。

☆ センターの事務所
札幌市中央区北三西二十丁目四番十北海道警察本部運転免許管理課内
自動車安全運転センター
北海道事務所
電話011(643)3101
(室蘭警察署)

冬の事故防止の要点

☆ 雪路やアイスバーンでの急ハンドル、急ブレーキはやめよう
☆ 停止距離は、夏の五倍から十倍になり、横ずれもします。車間距離を十分に。
☆ 追い越しは慎重に
☆ 小さな事故を大きくし、非常に危険です。徹底した安全確認をしよう。

☆ 冬山のきびしさを知らう
○ 登山計画は綿密に
○ 装備と食糧は十分に
○ 行動は慎重に
○ 必ず登山届けを出そう
(室蘭警察署長)